

大人が楽しむ姿見せ 子どもたちに伝える



雪浦ウィーク実行委員会
会長 久保桂奈さん



実家の酢造で働くことになりました。地元では同世代の仲間が、かつての大人と同じように地域行事で指導する立場になっており、「まちづくりに」としてではなく、地域の営みとして自然に取り組んでいて、気が付いたら私も当たり前のようにその輪に加わっていた」と振り返ります。

つなぐ大きな役割も果たし、現在は地域住民が文化・芸術の取り組みを披露する貴重な機会になっています。活動の根底には地域に対する思いがあります。「海、山、川。それに文化と人のつながり。何もないけれど、何でもあるのかもしれない」。その雪浦の魅力子どもたちにも伝えたいと考えています。「大人が真剣に楽しみ、真剣に取り組むことが何よりかっこいい。その姿を子どもたちに見せることが一番の継承だと思う」。父親たちから引き継いだバトンを次代につなぐため、しっかりと握りしめています。

表紙のコト

七ツ釜鍾乳洞

長崎県唯一の鍾乳洞。35の洞窟が確認されており、それらを総称して「七ツ釜鍾乳洞」といいます。洞窟の中を進むと6メートルの滝や直径60センチメートルの大石柱などが次々と現れ、神秘的な世界が広がります。



西海市観光協会の皆さん
「10月13日～11月3日に『七ツ釜鍾乳洞と里山の秋まつり』を開催します。見頃を迎えるコスモスや無料開放する「化石の森」を楽しめます。1年を通してイベントを企画していますので、ぜひお越しください。(西海市観光協会の佐藤施設長)」

NPO法人西海市観光協会 七ツ釜鍾乳洞事務所

ところ 西海市西海町中浦北郷2541-1
営業 4月～9月 9時～18時(最終受付17時30分)
10月～3月 9時～17時(最終受付16時30分)
※年末年始を除く
☎ 0959-33-2303

名物バス停そっくりの「あらかぶケーキ」



バス停そっくりに作られた「あらかぶケーキ」

お菓子のいわした

西海市崎戸町内に設置されている鱷ノ浦アラカブバス停をそっくり模して誕生した「あらかぶケーキ」。西海市の魅力をケーキで表現したいという店主の思いで考案されました。レアチーズのブリュレやムース、スポンジを、生クリームや寒天でコーティングしています。

ところ 西海市西海町七釜郷567
営業 9時～18時
※月曜定休
(月曜祝日の場合火曜定休日)
☎ 0959-33-2535



オーナーシェフ
岩下武士さん



豊かな海流が育むブランドタコ「えべす蛸」



身が引き締まり肉厚な「えべす蛸」

大瀬戸町漁業協同組合

五島灘の潮の流れが速い海域で取れるマダコを、七福神のえびす様にちなみ「えべす蛸」としてブランド化。水揚げ後すぐに塩もみして浜ゆでし、真空パックにしています。身が引き締まり、肉厚なのが特徴です。塩味が利いているので、そのままでもおいしく召し上がれます。

ところ 西海市大瀬戸町瀬戸福島郷1432-2
営業 月～金曜 9時～16時
※祝日、年末年始を除く
※「えべす蛸」は同漁協や西海市内の直売所などで販売
☎ 0959-22-0039

今年は
数年ぶりの
豊漁です



宮崎祐輔さん

西海市大瀬戸町雪浦地区で5月に開かれる町歩きイベント「雪浦ウィーク」。父親が仲間と共に始めたその姿を見て育ち、そばで支え、まちづくりのバトンを引き継いだ女性がいいます。

雪浦ウィークは、どこか懐かしい町並みが残る同地区の飲食店や工房、民家などを舞台に住民との交流が楽しめ、多くの行楽客でにぎわいます。

1999年にイベントを始めた住民の一人、川添酢造4代目の故川添成行さんの長女として、久保桂奈さんは生まれました。

雪浦くんちやペーロン、鬼火焚き。久保さんは幼い頃から、子どもも主役になれる地元の祭りが大好きでした。「真剣に行事と向き合う、大人の背中もかっこよかった」と懐かしみます。成長とともに地域づくりに関心を持つようになり、地元の高校を卒業後、長崎大学環境科学部に進学。「当時から関心はあったが、自分が地元に戻ってまちづくりに関わるとは思っていなかった」と笑顔で話します。

転機は20代半ば。大学卒業後に勤務していた県内の出版社を退職し、

道の駅さいかい みかんどーム



半円形の大きなドーム形テントが目印の道の駅。西海市の生産者が作る特産品や、長崎県の逸品がそろっています。旬の食材を使ったジェラートも人気です。10月～3月は同市名産のみかんが並びます。

さいかい丼フェア



西海市内の飲食店が、地元の豊かな農水産物を使った特色ある丼を提供するイベント。今年は10月・11月の2カ月間、市内20店舗が参加し、「スイーツ丼」も登場。各店が趣向を凝らした絶品丼を味わってみませんか。

地域のニューストピックを紹介 西海橋架橋70周年・国重要文化財指定5周年記念シンポジウム

10月18日に架橋70年を迎え、西海橋の架橋70周年と国重要文化財指定5周年を記念するシンポジウムが開かれます。西彼杵半島発展の礎を築いた西海橋の歩みを、架橋技術、西海国立公園との関係、怪獣映画によるコンテンツツーリズムなどの観点で振り返ります。※シンポジウムへの参加は事前申込制です

